

## 北海道富良野緑峰高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において平成29年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1) アグリマイスター顕彰制度の推奨を継続し、農業教育の質を向上させる。	A	(1) 農業クラブ3大行事における成果の向上を図る。 (2) 日本農業技術検定や資格取得の合格率の向上を目指す(講習会実施)
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1) 外国人観光客などインバウンドとの交流を行います。	B	(1) 地域におけるイベント・販売会において富良野の食について交流
II 地域社会・産業に 寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1) インターンシップにおいて、農業とそれに関わる産業体験を充実させる。 (2) 栽培試験作物における近隣先進農家との交流	B	(1) 農家、食品製造業などのインターンシップの実施  (2) 課題研究を通じ、地域先進農家との技術指導を図る。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1) 地域関連産業施設の見学や近隣先進農家の講演会を行う。	A	(1) 農業関連施設・6次産業先進農家の視察や先進農家の講演会を行い見識を高める。 視察は7月、講演会は2月に予定
III 地球環境を守り 創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1) 作物の試験的品目別の特別栽培の実施	B	(1) 専攻班活動におけるスイカ、サツマイモの特別栽培の実施
	⑥「食農」教育を推進します。	(1) 地域の幼稚園、小学校、中学校と連携し本校の生産野菜を通じて食と農業の大切さを伝えます。	A	(1) 幼稚園でジャガイモ栽培、小学校で玉葱栽培交流、中学校でオムカレーづくり体験など授業を通じ食育を推進する。
IV 地域交流の拠点 となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1) グリーンツーリズムの展開 (2) 授業における富良野資源の活用	B	(1) 本州の大学との文化交流 (2) 富良野ワインにおける残渣の利用、ブドウのつる利用によるリース作り、ワイン樽利用によるガーデニングコンテスト作品づくり
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1) 市内施設の草花装飾活動の充実 (2) 専攻班活動を通して、多くの地域交流を図る。	A	(1) 富良野駅や市内ホテルの花壇造成を行い、地域の観光産業の一助となる農業教育を進める。 (2) カレンジャー娘によるご当地グルメ、オムカレー消費推進活動
V 地域防災を推進 する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1) 農業関連機関と連携し、生徒の農業に対する見識を高める。	B	(1) 上川振興局農務課や上川普及センターと連携し、農業視察研修や講習会を実施する。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1) 本校が避難場所のため、災害に備えての各機関との連携強化を行う。 (2) 実習における安全対策の実施	B	(1) 校内における防災訓練の実施と各機関との連携  (2) 危機管理マニュアルに基づき、農場実習や食における安全管理に努めます。